

平成30年8月29日  
道路局道路交通管理課



生産性革命  
プロジェクト

## ETC2.0データを活用し、トラック等の運行管理を効率化 ～「ETC2.0車両運行管理支援サービス」を本格導入～

国土交通省では、トラック等の運行管理の効率化のため、ETC2.0を搭載した車両の走行位置や急ブレーキ等のデータを活用する、「ETC2.0車両運行管理支援サービス」を本格導入し、平成30年8月30日よりデータ配信を開始します。

国土交通省では、バスやトラックの生産性向上をはじめ民間での新たな交通サービスの創出を促進するため、ETC2.0データの官民連携による活用に本格的に着手することとしており、「生産性革命プロジェクト」にも位置づけています。

このうち、トラック等の運行管理について、ETC2.0データの活用により効率化を図るサービスの提供に向けて、検討を実施してきたところです。

今般、広く一般にサービス提供を行うため、公募により選定した(一財)道路新産業開発機構を配信事業者として「ETC2.0車両運行管理支援サービス」を本格導入することとしましたのでお知らせします。

**データ配信開始日** : 平成30年8月30日(木)～

**配信事業者** : 配信を希望される場合は、以下にお問い合わせください。

(一財)道路新産業開発機構 ITS・新道路創生本部 半田、徳嵩

TEL : 0120-552-907 FAX : 03-5843-2900

HP : <http://www.hido.or.jp/distributes/index.php>

問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課ITS推進室 馬渡、上原(内線:37453、37462)

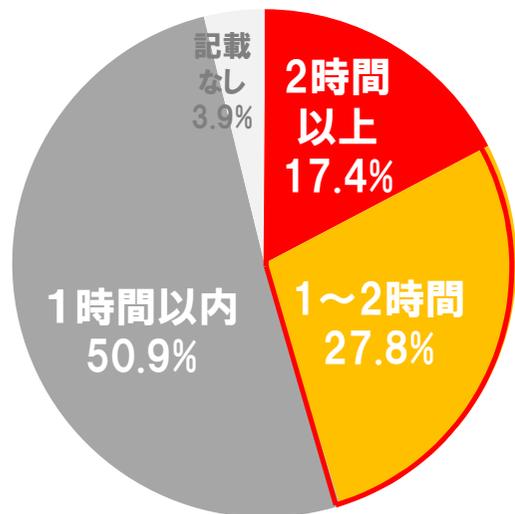
(代表)TEL:03-5253-8111 (課直通)TEL:03-5253-8484 FAX:03-5253-1617

○ 運行管理の効率化やドライバーの安全確保等を目的として、ETC2.0で収集される車両の位置情報等のデータを事業者へ提供する社会実験を平成28年2月より実施

## 荷待ち時間の現状

約半数で1時間以上の荷待ち時間\*が発生

\*主要産業の配送センターにおける到着から荷役開始までの時間



荷主庭先実態調査報告書  
(日本路線トラック連盟)より

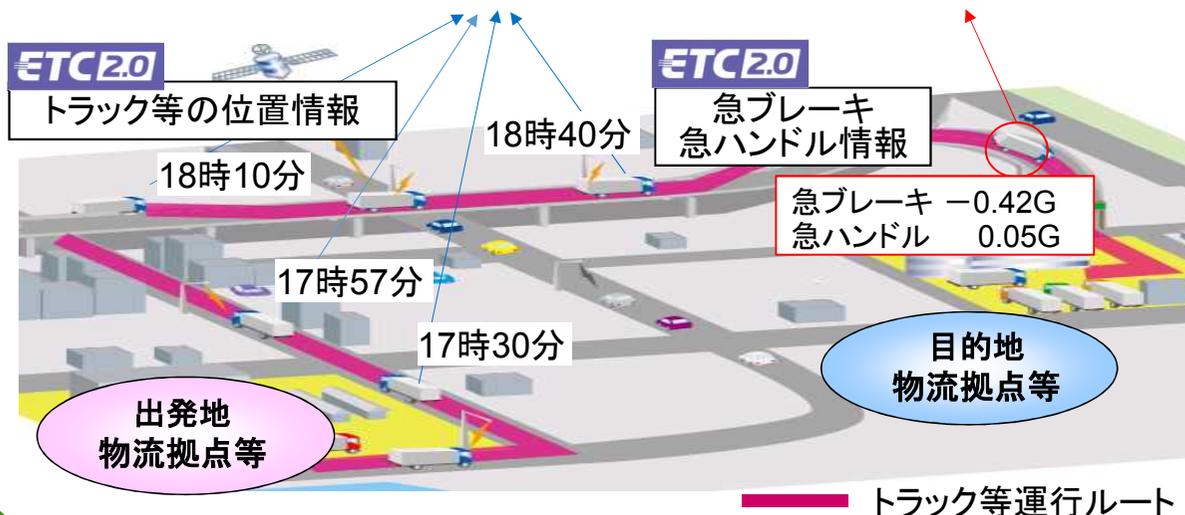
## サービスイメージと期待する効果

### 物流事業者等

リアルタイムな位置情報で  
正確な到着時刻を予測  
⇒ 荷待ち時間を短縮

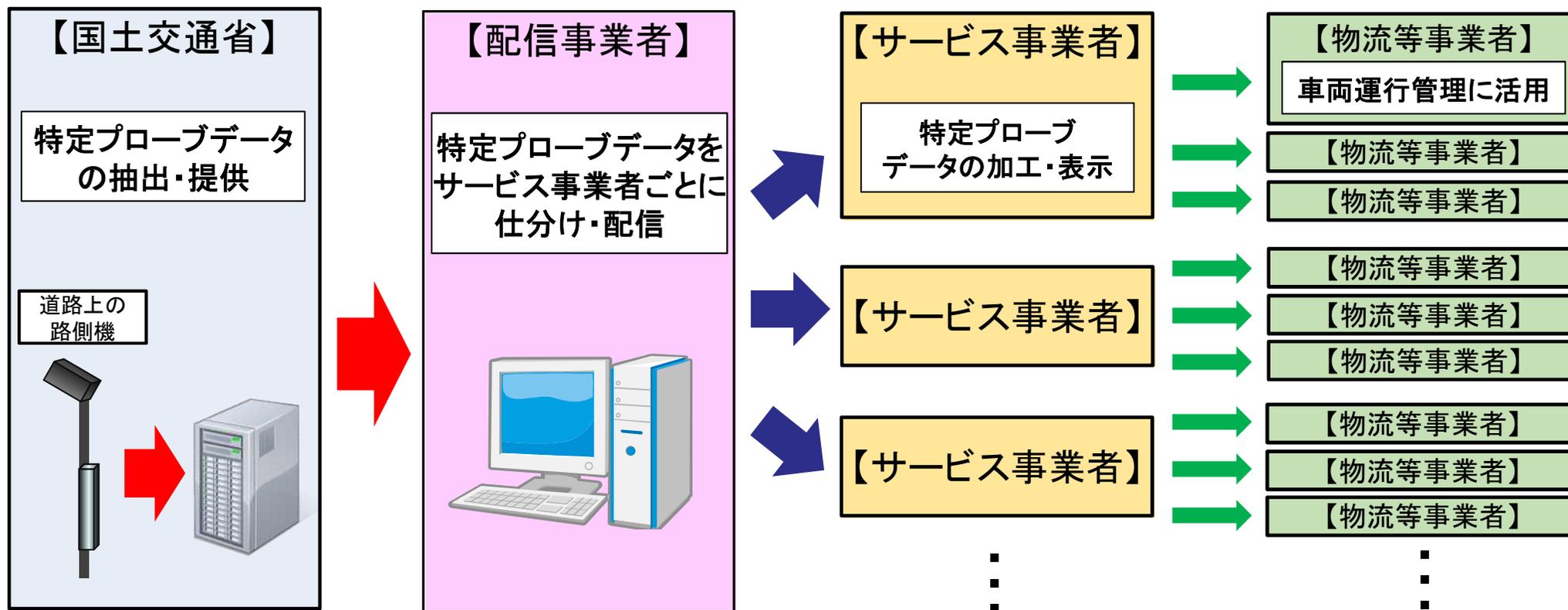


急ブレーキ情報等により  
運転の危険箇所を  
ピンポイントで特定  
⇒ ドライバーの安全確保



平成30年8月30日(木)より本格導入開始

○ ETC2.0を搭載した、特定の車両の走行位置や急ブレーキ等のデータ(特定プローブデータ)を抽出し、配信事業者に提供。配信事業者は、特定プローブデータの加工・表示を行うサービス事業者に配信し、物流事業者等の車両運行管理等に活用。



## ■ 特定プローブデータの取扱い

- ・特定プローブデータは、当該車両が関係するサービス事業者、物流事業者にのみ提供
- ・各事業者は特定プローブデータを車両運行管理以外の目的には使用しない。

※特定プローブデータ:事業者等の申請により、車両を特定して抽出したもの